

緊急調査

「コロナ感染拡大の今、求められる子ども・青年への支援、ピア・サポート活動の展開に関する調査について」（依頼）

日本ピア・サポート学会 研究調査委員会
委員長 春日井 敏之

新型コロナウイルス感染は、第3波の拡大期を迎え、終息の見通しが立たない状況が続いていますが、皆さん方はお変わりないでしょうか。2020年は、3月から5月までの学校の一斉休校、6月からの再開と学校における感染予防の取り組みと授業や行事、進路選択（進学、就職）など、教職員にとっても子ども・青年、保護者にとっても、学校、家庭、地域ではこれまでにない負荷がかかってきました。また、コロナ感染が拡大する中、「病気、不安、差別」という3つの問題の広がり懸念されています。見えないものへの恐怖心や不安が増大する中で、「他者」への攻撃性も膨らんでいったりします。

このような中であって、多くの子ども・青年たちは健気に頑張っているのではないのでしょうか。だからこそ、その一方では、息切れしたり、様々な形でSOSを発信したりしている子ども・青年たちもみられます。

本学会では、10月に中学校・高等学校も含めて活用可能な『大学でのピア・サポート入門—始める・進める・深める—』（ほんの森出版）を刊行してきましたが、今こそ活用していただけることを願っています。

1. 調査目的・内容

私たちには、子ども・青年一人ひとりの生活を丁寧に捉えながら、小中高校や学級、大学、地域などにおける楽しい交流や学習支援、行事活動などが求められています。これは、コロナ感染拡大のもとで、子ども・青年たちをつなげていく取り組みであり、今だからこそできるピア・サポート活動の展開が求められているのではないのでしょうか。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大のもとでの子どもたちの気になる様子や課題、その課題解決にむけた個別支援の工夫、学級・学年などでの様々な取り組みの工夫、その中で、ピア・サポート活動がどのように工夫され展開されているのかなどについて緊急調査を行います。

全国の取り組み状況を把握するとともに、調査結果をまとめ会員の皆様方に発信することで交流を深め、学校、地域等での実践がより広がっていくことを目指したいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

2. 調査方法

1. 調査方法：メールにて依頼し返信を求める。HPにも掲載し依頼する。
(google フォームによる自由記述調査)
2. 調査対象：アドレスを登録している会員には直送。学会HPで全会員に依頼。
3. 調査期間：2021年1月1日（金）～2021年1月31日（日）
4. 結果報告：子ども・青年の状況と取組などについて、校種別にWeb冊子(事例集)にまとめ、3月31日までに学会HPにアップし、会員で共有していく。

*緊急調査の記入は、下記のURLもしくはQRコードからお願いいたします。

<https://forms.gle/hCwiT7EDTwPafs5N8>



以上